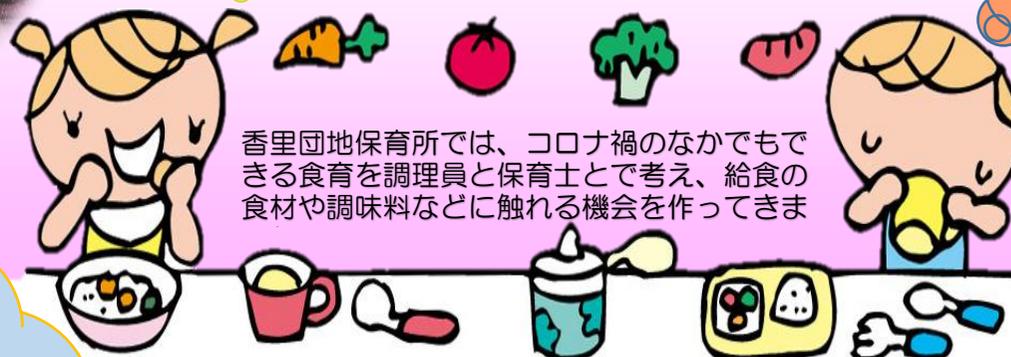


枚方市立香里団地保育所

5歳クラスは、ボックスに食材を入れて、手で触れた感触や匂いで、何が入っているかをクイズ形式で楽しむことができました。

0歳児クラスは、キャベツの外葉を頭に寄せたり、顔がすっぽり隠れるので「ばあ！」とかくれんぼ遊びをして親しんでいます。



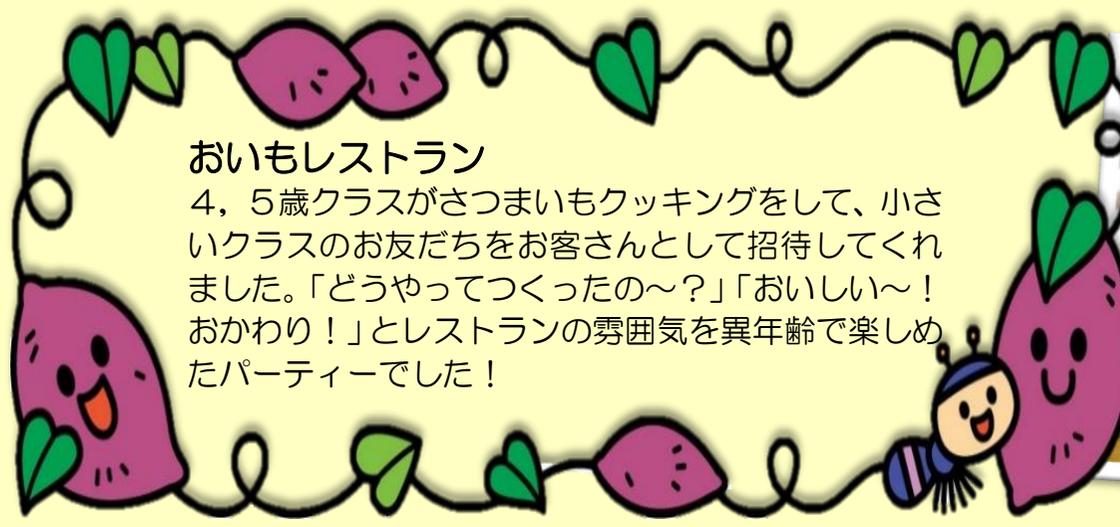
香里団地保育所では、コロナ禍のなかでもできる食育を調理員と保育士とで考え、給食の食材や調味料などに触れる機会を作ってきました。

野菜の皮や水で戻す前の乾物を触り、乾物は水で戻して実験のような楽しみ方もできました。お味噌汁の日は、お出汁に使う鰹節や鯖節、お味噌を見たり、触ったりして、給食を味わいながら今日のメニューの何に入っているかを考えるのも面白かったです。



水の中に入れて浮くか沈むかの実験！“土の中で育つと沈む、土の上で育つと浮く”ということがわかりました！



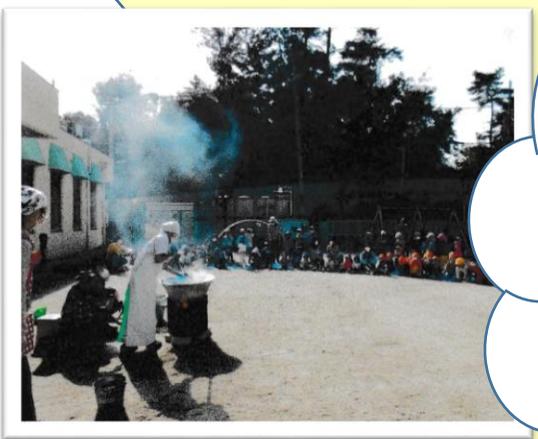


おいもレストラン

4, 5歳クラスがさつまいもクッキングをして、小さいクラスのお友だちをお客さんとして招待してくれました。「どうやってつくったの〜?」「おいしい〜! おかわり!」とレストランの雰囲気を楽しめたパーティーでした!



幼児クラスで役割分担し、野菜をちぎり、皮をむき、包丁で切りました。そして園庭で大きなお鍋を囲みカレーを作りました。次は何を入れるのかとワクワクしながら見ている子どもたちです。『あ〜いいにおい〜』『早く食べたい〜』と期待が膨らんでいましたよ。保育所のみんなで作ったカレーは格別でした!



白・緑・黄・赤のレンジャーが我が保育所に参上!! 野菜嫌いの子にバイキンが忍び込んできましたが、食育レンジャーの力でやっつけました。給食の時にはレンジャーのことを思い出した子どもたち。『バイキンやっつけた!』と野菜を意識して食べていました!

